

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「地域とともに育てていく」「なじみを大切にす」と理念で掲げている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念を玄関に掲示し、職員だけでなく、家族や実習生等の訪問者も来訪時には目にすることが出来る。また、申し送りやカンファレンスを通して、理念の共有を図り、実践に努めている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>玄関に理念を掲示している。また、ご家族には毎月、地域の方には運営推進会議の際にグループホーム新聞等を配布し、理解して頂けるように努めている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>顔を合わせた時は挨拶を交わすなど、日頃から親しい関係を築けるように努め、ホームで行事を行う時は、参加の声かけを行っている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>ホームの一室を地域の集まりに使って頂いたり、地域の公園で家族会・地域合同の餅つきをしたりし、地域との交流に努めている。また地域の老人センターの活動(盆踊り、文化祭、押し花教室等)にも参加させて頂いている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>グループホームで共用型のデイサービスを行い、地域の方に利用して頂いている。またホームの家族会が中心となり成年後見制度の勉強会を行ったり、講師を招いて食中毒・感染症の予防勉強会に地域の方にも参加して頂いた。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価等を通してより良いケアが出来るように支援している。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者の入退居や職員の異動、ホームでの活動等の報告や連絡を行い、また自治会からの活動の報告も受け、地域ぐるみで高齢者や家族を支えるような取り組みについて話し合っている。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町サービスの質の向上を図るため、一事業所としてではなく、尼崎市のグループホーム連絡会を介して市町全体のレベルアップを図ろうと取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>10月に自治会、家族会、包括支援センター等の協力を得て、権利擁護に関する制度の理解と活用についての勉強会を行った。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>実習生、ボランティア、見学者に加え、家族の訪問や医師の往診等、風通しの良い環境を作り、虐待防止に努めている。</p>	<p>デイサービス利用者の入浴時には、身体状況を観察し、新しい傷や病気等を把握し、連絡ノートにて確認し合えるように努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>家族で年に何回かホーム職員を交えず、車座の会合を開き、意見等があればホームへの質問もあり、ホームはそれを検討し、丁寧に解答している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>必要な職員・スタッフを確保するために勤務時間や業務内容の変更等を行い工夫しているが、休日出勤することもある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各階に責任者（リーダー）を置き、かつ馴染みの職員により安らぎのある生活が保てるように配慮している。大きな異動や馴染みのある職員の離職はこの何年かないが、その際は入居者にダメージがないように努めたい</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりに応じた研修を受けられるよう段階的に実施している。また法人内にホームヘルパー養成所があること、また所長が大学福祉学部の教授であることもあり、学習の機会を持てるようにしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>尼崎市グループホーム・グループハウス連絡会に属し、3ヵ月に1度の役員会、2ヶ月に1度の討論会に各職員が出席し、交流やネットワーク作りの場を設けている。10月末には連絡会で交換研修を行い、11月2日にはパーソンセンタードケアの勉強会があり、数名の職員が参加した。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員がストレスを溜め込まないように話を聞く機会を持ち、日々感じていることを聞き出す努力はしているが、実際にストレスが軽減されているかどうかはわからない。</p>	<p>今後、もっと親睦や交流の場を持てる余裕を作りたい。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員一人ひとりの努力や能力を考慮しながら仕事の役割分担をし、出来ることはもっと生かせるように努めているが、個人差もあり、意識や意義の視点を高め、職員相互が助け合って向上できるようにしたい。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>利用者ど家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者ど家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1.一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は入居者が自己決定できるような場面作りや声かけを行い、ご本人の希望や意向を確認し把握に努めている。また日々の生活の中の何気ない会話等からも希望や思いを読み取るよう心がけている。また困難な場合は、ご家族の協力を得ながら、職員間でご本人の気持ちを考え、本人本位のケアを心がけている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人やご家族から、生活歴やなじみのもの等の聞き取りを行い、個々に合った生活が送れるように努力している。また入居後もご本人・ご家族に聞きながら、より多くの情報の把握に努め、ケアに活かしている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の活動・心身状態の変化等については、職員全員で観察し、申し送りノートや業務日誌に記載することで情報の共有に努め、意見交換しながら、ケアに反映している。</p>	
<p>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の意見も取り入れ、担当職員が介護計画を作成し、それをもとに職員全員で話し合い完成させている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月に1度行われるカンファレンスで見直しの場を設けているが、実施できないときは職員間で話し合いながら見直しを行っている。また、介護計画の期間に捉われず、一人ひとりの状況に合わせて、その都度新たな計画を作成している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化を申し送りノートに記載し職員同士で観察を深め情報を共有している。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームへの入居だけでなく、デイサービスも実施している。デイサービスの利用者に対しては、家族の希望により帰宅時間に配慮して送迎を行っている。また、グループホーム入居者とデイサービスの利用者相互が織りなす社会的な関わりが大変ケアに活かされている。</p>	
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>今後も職員間の思いを更に統一してより良い支援に向けて取り組んでいきたい。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>今後も取り組みの中に勉強会、研修会などの研鑽の機会を持ち一層努力を重ねていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>移り住む事のリスクを最小限に食い止めるように、新しい移転先に対してケアの内容を文章化し、生活の細やかな情報交換を行いながら利用者や家族が一日も早く新しい環境になれ落ち着いた生活を送って頂けるように支援している。</p>	
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりを尊重した関わりを心掛け、記録する際にも注意している。生育歴等プライバシーに大きく関わる事等は、介護に関わる情報を除き個人ファイルは鍵のかかる書庫に納め外部流出を防いでいる。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>生活の中で自己決定をして頂ける場面を多く作り自己決定できる充足感を味わって頂ける様に支援している。(飲み物、着替え、入浴等)</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>出来るだけ利用者の思いを汲み取りながら、出来る事を共に行い、残存機能に応じた生活をより充実した内容で送る事が出来る様に支援している。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>外出日やお誕生日等はお化粧をしたり、おしゃれして頂いている。美容院や理容院はお気に入りの店が在る方もおられるが、足腰が弱く外出が困難な方も、訪問美容を利用する事で常に身だしなみに配慮した生活が出来る様に支援している。また普段から美しいお姿でいて下さることを支援したい。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持っている利用者は通院時や買い物等で自分で支払う事や友人にお土産を買ってきたりする事の喜びを味わっておられ、家族もその喜びを容認して居られる。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>常に一人ひとりの希望に沿う事は難しいが、外出介助の時間を設けその時間には希望者の要望に応えるべく配慮している。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>家族の協力を得て外出の機会を得ている。年1回の温泉旅行やお彼岸のお墓参り、孫の誕生会や結婚式等のお誘いがある。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>時々送られてくる手作りパンのお礼や年賀状、要求に応じて家族・友人との電話等日常的に対応している。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>家族、知人、友人、ボランティア、見学者、の他にも近隣住人の方が創作生け花を持って定期的に訪れている。</p>	
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は、常に入居者の所在や様子、状態に気を配り、把握に努めている。必要時には、そばに付き添うなど安全への配慮も心がけている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>異食行為のある入居者がいるために一律に物品をなくしていた時期があったが、現在では危険がないように工夫している。また、はさみや針等を個人で持たれている方もおられ、その方の状態に応じてホームでお預かりし、管理を行っている。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>事故を未然に防ぐためのマニュアルや日常業務の中にチェック機能を組み入れる方法を取ると共に、事故等が起こった場合の対応マニュアルを作成している。また、職員は入居者一人ひとりの状態を把握し、転倒、誤嚥等がないように常時見守り、事故のないように努めている。</p>	<p>職員の知識に偏りがあると考えられるため、勉強会等の学ぶ機会を増やす必要があると考えられる。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>年に一度消防訓練を行い、日々の勤務の中で消火器や懐中電灯等の点検の機会を作り、常に事故発生時の際の対応を意識するように努めている。</p>	<p>応急手当の訓練も定期的に行なうようにし、職員全員が対応できるようにしたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時を想定した避難経路のマニュアルを作成している。また消防訓練の際は、地域の方にも参加して頂き、いざという時に協力して頂けるように努めている。</p>	<p>今後も地域の方とのより良い関係作りに努めたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>口腔ケアが必要な方には、昼食後も行なうようにしているが、出来ないこともあるため、徹底していききたい。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>水分量に関しては、食事やおやつ時に十分に摂って頂けるようにしているが、必要な場合は水分摂取量をチェックすることもある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症対策のマニュアルを作成し、万が一、発生した場合にも感染を拡大させないためにマスク、消毒薬等の用具一式をBOXに入れ用意している。また介助後、調理前、片付け前、外出後に手洗いを徹底している。</p>	<p>9月には、講師を招いて職員を対象にした感染症予防や食中毒の勉強会を行い、近隣の方にも参加して頂いた。</p>
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食材は、新鮮なものを必要な分だけ購入している。また食器布巾やまな板、包丁等は毎日消毒を行っている。</p>	<p>”</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>建物周囲には、入居者・家族・地域の方々にも喜んで頂けるように花を植えている。また、分かりやすいように職員手書きの楽しい看板を掛けている。</p>	
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やリビングには四季折々の花を飾ったり、入居者が書いた絵やカレンダー、押し花等を飾り、居心地の良い空間作りに努めている。またトイレの不快なおいがしないようにダストシュートの設置や滅菌清浄装置を取り付け、換気を心がけている。</p>	
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>椅子やソファを設置し、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。また1階と2階も自由に行き来できるようになっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には、使い慣れた家具やなじみのある物を持ち込んで頂き、入居者が落ち着ける空間となるように配慮している。</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気に努め、入居者の状態や外気温に応じて温度調節を行なっている。また空気除菌・清浄機の設置やトイレの汚物処理や換気にも工夫している。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内にはエレベーターを設置せず、階段を利用して頂くことにより身体機能の維持に努めている。また必要箇所には手すりを設置し、玄関と階段以外はバリアフリーになっており、安全に過ごして頂けるようにしている。</p>	<p>居室は、それぞれの身体機能に合わせて生活できるように工夫され、寝具もベッドの方とお布団の方がおられ、今までの生活習慣や身体機能に合わせたものとなっている。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>居室には分かりやすいように表札やご家族との写真等を飾り、トイレ・浴室にも札をかけている。また入居者個々の能力(出来ること・出来ないこと等)に合わせ、持てる力を発揮して頂けるように支援している(洗濯・料理・刺し子等)。</p>	
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の外回りやベランダには花を植え、花の水やりや観賞ができるようにしている。また夏にはゴーヤ等を植え、収穫の喜びも感じて頂けるように工夫している。</p>	

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の思いを尊重し、常に受容するように努め、日々ゆったりと安心して生活して頂けるよう支援している。
 利用者のご家族により良い支援を心掛けている職員の職場環境を心地良いものにするために、お互いに気持ち良い挨拶を実践している。また、ホームを訪れる誰方に対しても可能な限り笑顔での出迎え、お見送りを行う等、礼節を大切にしている。